

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 23 日

熊 本 県 知 事 木 村 敬 殿

提出者
住所 熊本県人吉市井ノ口町792-7

氏名 株式会社 白岳酒造研究所
代表取締役 高橋 光宏
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0966-22-2155

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 白岳酒造研究所
事業場の所在地	熊本県人吉市井ノ口町792-7
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	酒類製造業 [1324]
②事業の規模	1,062,560,160円
③従業員数	13人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現 状	【前年度（6年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥					
	排 出 量	6,519.00 t	423.00 t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類							
	排 出 量	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)								
廃棄物のほとんどを占める焼酎粕は、焼酎製造量に比例して排出されるので、その量の抑制は困難であるが、焼却施設で減量化を行い、事業場から出る廃棄物の排出量の抑制に努める。								
② 計 画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥					
	排 出 量	8,700.00 t	700.00 t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類							
	排 出 量	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)								
廃棄物のほとんどを占める焼酎粕は、焼酎製造量に比例して排出されるので、その量の抑制は困難であるが、焼却施設で減量化を行い、事業場から出る廃棄物の排出量の抑制に努める。								

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	廃棄物の処理及び再利用を円滑にするため、廃棄物の分別保管を徹底する。
② 計 画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	廃棄物の処理及び再利用を円滑にするため、廃棄物の分別保管を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状		【前年度（ 6 年度）実績】							
産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥							
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥							
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状		【前年度（ 6 年度）実績】							
産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥							
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	4,239.00	423.00	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
焼酎製造工程から発生する洗米排水、雑排水は排水処理施設により処理し、発生する洗米汚泥及び余剰有機汚泥は焼却処理（自社処理）を行う。									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥							
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	6,700.00	700.00	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
焼酎製造工程から発生する洗米排水、雑排水は排水処理施設により処理し、発生する洗米汚泥及び余剰有機汚泥は焼却処理（自社処理）を行う。									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 6 年度）実績】								
① 現 状	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)								
【目標】								
② 計 画	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ 6 年度）実績】								
① 現 状	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥					
	全処理委託量	2,308.30 t	3.15 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2,308.30 t	3.15 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類							
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)								

焼酎製造工程の蒸留後に発生する焼酎粕は、焼却処理（自社処理）し減量化する。この焼却処理に伴い発生するばいじん及び燃え殻はエコブロック原料として再利用する（委託処理）。

また、焼酎製造工程から発生する焼酎粕の一部は、固液分離し飼料原料として再利用化を行う（委託処理）。

【目標】									
① 計 画	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥						
	全処理委託量	2,053.00 t	7.00 t						
	優良認定処理業者 への処理委託量								
	再生利用業者 への処理委託量	2,053.00 t	7.00 t						
	認定熱回収業者 への処理委託料								
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量								
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量								
	優良認定処理業者 への処理委託量								
	再生利用業者 への処理委託量								
	認定熱回収業者 への処理委託料								
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量								
	(今後実施する予定の取組)								
	焼酎製造工程の蒸留後に発生する焼酎粕は、焼却処理（自社処理）し減量化する。この焼却処理に伴い発生するばいじん及び燃え殻はエコブロック原料として再利用する（委託処理）。 また、焼酎製造工程から発生する焼酎粕の一部は、固液分離し飼料原料として再利用化を行う（委託処理）。								
※事務処理欄									

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第 1 面

産業廃棄物の一連の処理の工程

について

1. 会社の概要

(1) 会社名

株式会社 白岳酒造研究所

(2) 資本金

1千万円

(3) 従業員数

13名

2. 当該事業場の事業の概要

(1) 製品精製数量 (令和5年度実績)

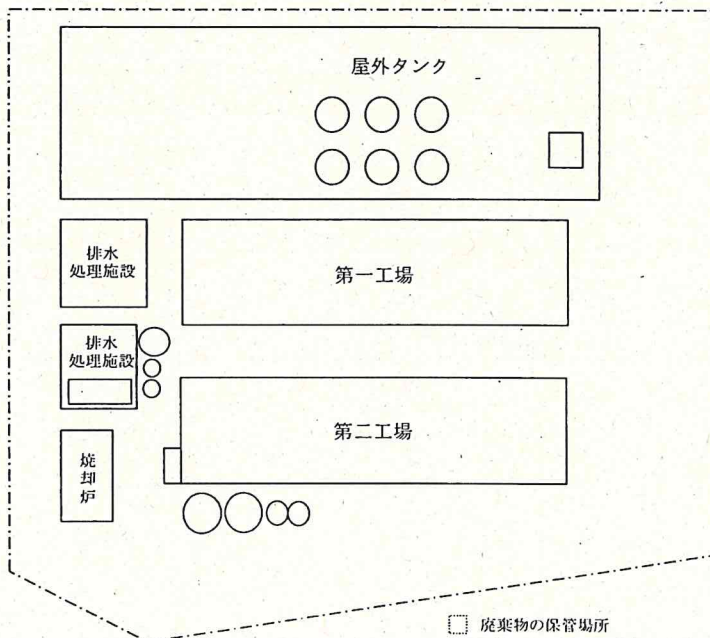
6950 kℓ/年 (25%アルコール換算)

(2) 製造概要

当事業場では、米を主原料に球磨焼酎の製造を行っている。

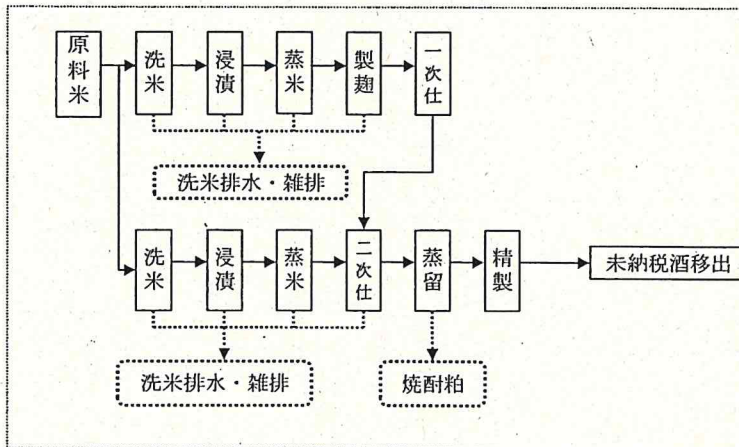
当事業場で製造した焼酎 (原酒) は、全量を未納税酒で関連会社 (高橋酒造株式会社) に移出している。

(3) 工場配置図

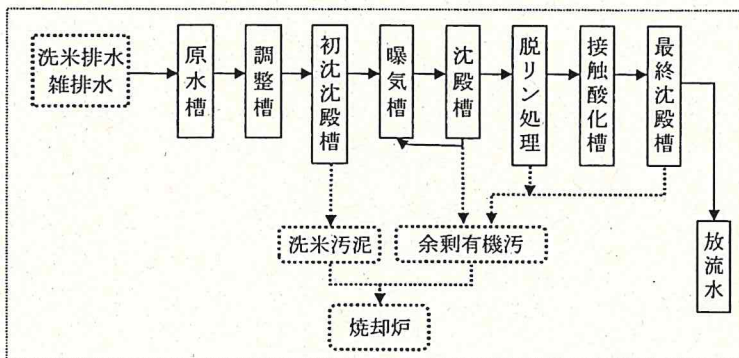


3. 廃棄物発生フロー

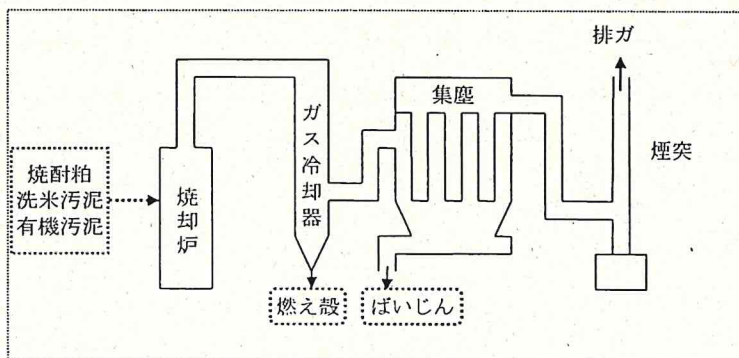
(1) 焼酎製造フロー



(2) 排水処理フロー

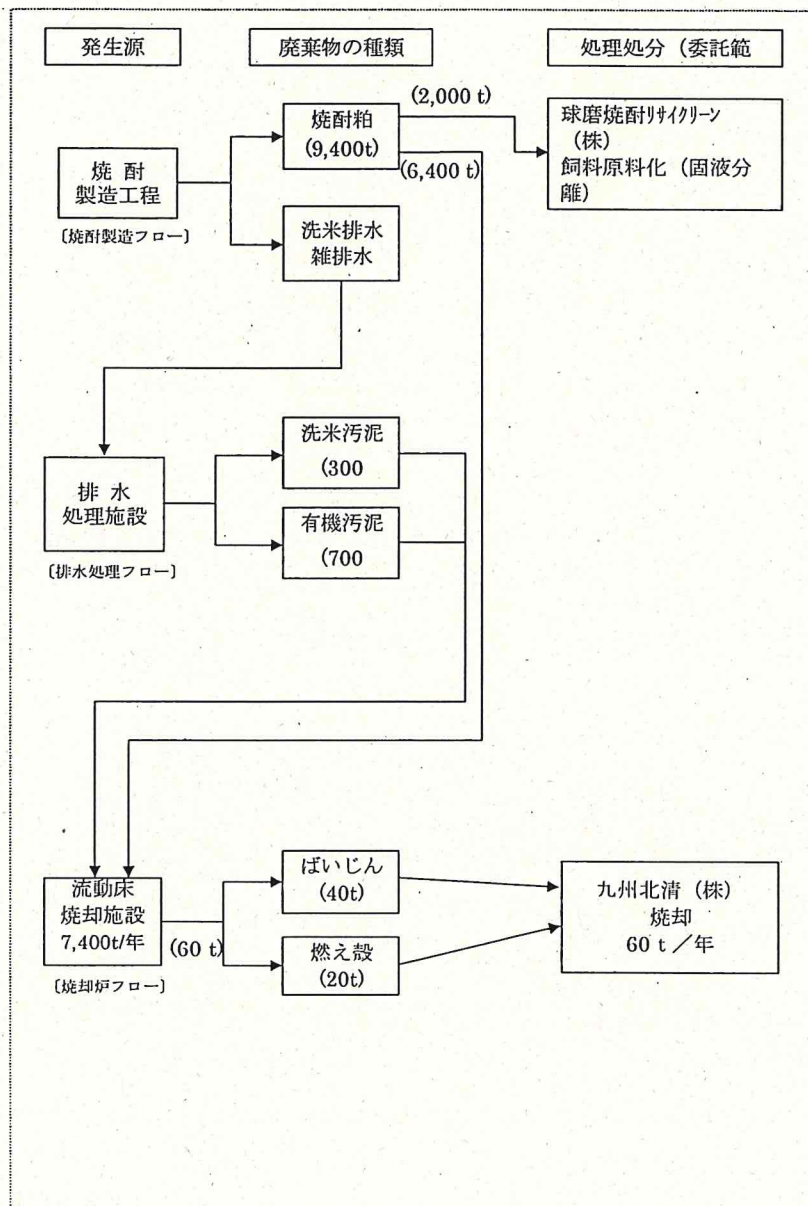


(3) 焼却炉フロー



第 3 面 産業廃棄物の一連の処理の工程 について

4. 廃棄物処理フロー



第 1 面 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 について

5. 廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

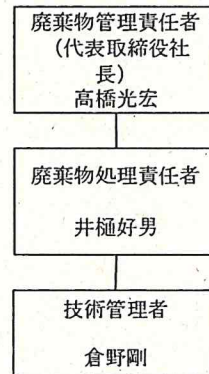
(1) 廃棄物処理責任者等

廃棄物管理責任者： 代表取締役 高橋 光宏

廃棄物処理責任者： 井樋 好男

技術管理者： 倉野 剛

(2) 廃棄物管理組織



産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	株式会社 白岳酒造研究所代表取締役 高橋 光宏	提出者の住所	熊本県人吉市井ノ口町792-7
事業場の名称	株式会社 白岳酒造研究所	事業場の所在地	熊本県人吉市井ノ口町792-7
内容年度	平成 7 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状／計画	排出量	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生利用量	うち熱回収量	自己中間処理減量化量	自己最終処分量	全処理委託量	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
廃酸	現状	6,519.00	0.00	0.00	4,239.00	0.00	2,308.30	0.00	2,308.30	0.00	0.00
	計画	8,700.00	0.00	0.00	6,700.00	0.00	2,053.00	0.00	2,053.00	0.00	0.00
汚泥	現状	423.00	0.00	0.00	423.00	0.00	3.15	0.00	3.15	0.00	0.00
	計画	700.00	0.00	0.00	700.00	0.00	7.00	0.00	7.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合 計	現状	6,942.00	0.00	0.00	4,662.00	0.00	2,311.45	0.00	2,311.45	0.00	0.00
	計画	9,400.00	0.00	0.00	7,400.00	0.00	2,060.00	0.00	2,060.00	0.00	0.00